

一般社団法人 日本リハビリテーション工学協会

2012年度第4回(通算第12回)理事会 議事録

1. 開催日時: 2013(平成25)年3月10日(日) 11:10~15:05 (12:45~13:30休憩)
2. 場 所: 横浜市総合リハビリテーションセンター 4階会議室

3. 審議事項

- 第1号議案(専権等の報告) 新入会者の承認についてメールによる承認者の報告について
- 第2号議案(専権等の報告) 3月9日統括会議報告
- 第3号議案(専権等の報告) 事業連絡調整会議報告
- 第4号議案(専権等の報告) 事業の後援および協賛に関する承認について
- 第5号議案(専権等の報告) 2012年12月~2013年1月の決算報告
- 第6号議案(専権等の報告) ライフスタイルイノベーションフォーラム(沖縄)基調講演許諾
- 第7号議案(専権等の報告) 展示会出展(HCR2013出展申込、バリアフリー2013及びワークショップ)
- 第8号議案(決議) 事業の後援および協賛に関する承認について
- 第9号議案(決議) バイオメカニズム学会協賛に関する承認について
- 第10号議案(決議) iCREATE2013の後援について
- 第11号議案(決議) 社員総会規則の改正案(次期総会に審議)
- 第12号議案(決議) 飯田賞の候補者推薦について
- (昼休憩) —————
- 第13号議案(決議) 福祉機器コンテスト2012の決算について
- 第14号議案(決議) コンテスト2013実施計画と予算について
- 第15号議案(専権等の報告) コンテスト事務局との契約について
- 第16号議案(決議) 新入会者の承認について
- 第17号議案(決議) 第27回リハ工学カンファレンス in 福岡の法人監事による確認の報告
- 第18号議案(決議) 第28回リハ工学カンファレンス in いわて 要項等の承認
- 第19号議案(専権等の報告) 第29回リハ工学カンファレンスの進捗報告
- 第20号議案(決議) 定款施行細則変更
- 第21号議案(決議) 委員会設置規則の改正
- 第22号議案(決議) 理事会推薦役員候補者
- 第23号議案(専権等の報告) WHO 「Work Package No. 5: Assistive Technology」研究サポート提出報告
- 第24号議案(専権等の報告) 韓国リハビリテーション工学協会(RESKO)カンファレンス出席報告
- 第25号議案(専権等の報告) Rehabilitation Engineering and Assistive Technology Society of Taiwan (TREATS)の依頼で、Symposium and Forum 参加報告
- 第26号議案(専権等の報告) CSUN Conferece-Int. Conference Organizers Meeting 参加報告
- 第27号議案(専権等の報告) 次期編集委員の候補および決定

4. 理事総数 13名

出席理事数 11名

会長(代表理事) 相良二郎

副会長 沖川悦三

理事 飯島浩、岩崎満男、大鍋壽一、金井謙介、川村慶、元田英一、鈴木聖貴
塚田敦史、巴雅人

監事	井村保
事務局	深野栄子
欠席理事	高原光恵、古井透
欠席監事	井上剛伸

5. 議事の経過の概要及び議決の結果

- (1) 定款第 39 条に基づき、議長となる代表理事の相良二朗が本日の理事会は定数を満たしたので、有効に成立した旨を告げたのち、開会の辞を述べた。
- (2) 議事録署名人について、議長からの指名により、本日出席理事の塚田敦史と巴雅人の 2 名を選出した。

第 1 号議案（専権等の報告）新入会者の承認についてメールによる承認者の報告について

事務局統括担当の沖川理事より、前回の理事会以降に承認された 4 名（2012 年度下半期）の入会が満報告された。

第 2 号議案（専権等の報告）3 月 9 日統括会議報告

総務統括担当の鈴木理事より、3 月 9 日に行った統括会議の報告がされた。

出席者：相良会長、鈴木総務統括理事、沖川事務局統括理事、金井事業統括理事、飯島財務担当理事、深野事務局長、（以下オブザーバー）大鍋国際担当理事、川村企画担当理事

第 3 号議案（専権等の報告）事業連絡調整会議報告

事業統括担当の金井理事より、3 月 9 日に行った事業連絡調整会議の報告がされた。

出席者：相良会長、沖川事務局統括理事、金井事業統括理事、岩崎協会誌担当理事、大鍋国際担当理事、川村企画担当理事、巴カンファレンス担当理事、鈴木総務統括理事、飯島財務担当理事、井村監事、深野事務局長

- 各事業報告に加え、次年度事業計画・予算について提示し、相互に連携できるよう把握し合った。
- 展示会：バリアフリー展、国際福祉機器展、西日本国際福祉機器展
 - ・ 公益法人化を目指すにあたり、非会員向けの情報提供やセミナー開催が公益活動になる
 - ・ セミナーは、企画担当理事と分科会担当理事（SIG、支部）の連携強化が必要である。
 - ・ ブース担当を支部でできるように検討してほしい。支部を会員にどう根付かせるかが課題である。
 - ・ 視聴覚関係の領域が弱いとの指摘がある（他団体との連携も模索が必要か）
 - ・ セミナーは、3 年計画などで企画担当がプログラムするなど、単に SIG に希望を募るだけでなく、協会主導で提案し、協力を依頼するなどが必要である。各 SIG や支部が事業計画に反映できるような配慮も考えていくことが必要である。
- 分科会：SIG、支部、専門委員会
 - ・ 支部には事業計画に応じて上限 5 万円／年の支部補助金を出せるかどうか、理事会で協議する。
 - ・ 来期は会則を整える。支部は会員が原則。公益法人化に向け、各支部を各地域に立ち上げる。
 - ・ 第 2 回東日本復興支援講習会を宮城県で開催する予定（岩手→宮城→福島）。
 - ・ 新たに立ち上げる専門委員会があれば、今後併せて計画を出す。
- 協会誌
 - ・ 協会誌発行は年 4 回、今年度並みで予算を上げている。来期の体制も整い始めている。
- 企画
 - ・ HCR 開催中に、正会員限定サイエンスカフェ的なことができないかを検討中である。
- カンファレンス
 - ・ 第 28 回岩手大会の進捗は遅れ気味である。演題数が奮わないのが現状である。
- 国際関係

- ・ アジアの連携について RESJA としてどのような方向で進めるのかは今後の課題である。

第4号議案（専権等の報告）事業の後援および協賛に関する承認について

事務局統括担当の沖川理事より、前回の理事会以降で新規後援・協賛の依頼のあったものについて、各理事への意見収集後に専権事項として承認回答したことの報告がされた。

- ・ 2013/01/18 後援 日本チェアスキー協会：「第34回日本チェアスキー大会」(2013/02/28～03/03)
- ・ 2013/01/29 後援 東京都南多摩保健医療圏地域リハビリテーション支援センター：「平成24年度福祉用具適合講習会『南多摩福祉機器展』」(2013/03/16～17)
- ・ 2013/02/20 協賛 一般社団法人日本人間工学会：「日本人間工学会第54回大会」(2013/06/01～02)

第5号議案（専権等の報告）2012年12月～2013年1月の決算報告

財務担当の飯島理事より、12月～2月末までの法人一本化を意識した会計状況が、収支計算書総括表、正味財産増減額計算書総括表、貸借対照表、貸借対照表総括表が提示され、報告された。

- ・ 大きなお金の動きがあるため、7月から1月までの修正箇所を整えたものを会計士に作成してもらっている。
- ・ 本年度のコンテスト、カンファレンスの監査が終わったので、会計士と調整し、コンテスト、カンファレンス会計を勘定科目にあわせ楕圓に構築する準備に入ったところである。

第6号議案（専権等の報告）ライフスタイルイノベーションフォーラム(沖縄)基調講演許諾

企画担当の川村理事より、株式会社沖縄TLOよりライフスタイルイノベーションフォーラム「沖縄型イノベーション創出研究会」において講演依頼があり、各理事への意見聴取後に専権で許諾したことが報告された。併せて、RESJAがHCR2012で企画した「基礎講座『支援機器、上手く使って自立度向上』」のテーマで受託し、福祉用具を開発するにあたりポイントになる事項の解説について講演してきたことが報告された。

第7号議案（専権等の報告）展示会出展（HCR2013出展申込、バリアフリー2013及びワークショップ）

事業統括担当の金井理事より、専権事項として、HCR2013に関する出展申込を行った。また、2012年度事業計画に基づいて、バリアフリー2013の出展等の手続きを行ったことが報告された。

■第40回 国際福祉機器展 H.C.R. 2013 (9/18 (水)～20 (金))

9月開催の展示会であるため、本来的には2013年度事業計画および予算要求の審議が終わってから申し込むべきであるが、申し込みの締め切り日が前年度内(2/1～3/29)であるため、継続事業であることを鑑み、会長、副会長、財務担当および総務統括と調整のうえ、専権事項として出展申し込みを行った。

今年度も福祉機器コンテスト表彰式および、セミナー・ワークショップの開講が計画されており、出展社としてのメリットを十分に活用する予定である。

■バリアフリー2013 (4/18 (木)～20 (土))

展示会事務局から例年通り2小間の無償提供を受けたので(1/21付)、2012年度事業計画に基づいて出展の手続きを進めた。また、出展社ワークショップについても、企画推進事業の事業計画に基づいて川村理事を中心に調整し、申し込みを終えた。車いすSIGの協力を得て、松田靖史氏を講師に「車椅子の力学を体験する」のテーマで行う。日程と場所は4/19(金)13:30-14:30、第1セミナー会場(5号館内)。

第8号議案（決議）事業の後援および協賛に関する承認について

広報・渉外(代行：総務統括)担当の古井(代行：鈴木)理事より、前回の理事会以降で、新規依頼のため後援・協賛依頼についての提案があり、審議の結果、満場一致で承認された。承認11、非承認0

- ・ 2013/02/18 後援 国立障害者リハビリテーションセンター：「重度肢体不自由者用ロボットアームのコストベネフィット評価第3回公開研究会」（2013/3/20）

第9号議案（決議） バイオメカニズム学会協賛に関する承認について

広報・渉外（代行：総務統括）担当の古井（代行：鈴木）理事より、継続依頼の後援・協賛依頼についての提案があり、審議の結果、満場一致で承認された。承認11、非承認0

- ・ 協賛 バイオメカニズム学会：「第23回バイオメカニズム・シンポジウム（2013/07/26～28）、第34回バイオメカニズム学術講演会（2013/11/16～17）」

第10号議案（決議） iCREATe2013の後援について

広報・渉外担当の古井（代行：相良）理事より、STARTセンターの幹事である Vera Young 氏から依頼があった、シンガポールのSTARTセンターとタイのNECTECが主催する第7回 iCREATe（国際リハ工学支援技術会議）8月29日～31日（韓国京畿道にて開催）の後援について提案があった。審議の結果、満場一致で承認された。承認11、非承認0

第11号議案（決議） 社員総会規則の改正案（次期総会に審議）

総会・理事会担当の塚田理事より、社員総会規則の改正案を次の社員総会で議決したいとの提案があり、審議の結果、満場一致で承認された。承認11、非承認0

- ・ 主な改正事項は、2012年8月施行の新定款に合わせたもの。条文中の定款条数を、新定款の条数に合わせたことによる改正である。

第12号議案（決議） 飯田賞の候補者推薦について

分科会・専門委員会担当の高原理事より、義肢装具学会より本協会宛に飯田賞の候補者について推薦依頼があった。SIG・支部へ募集をかけたところ、義肢装具 SIG より候補者が挙げられ、推薦することを了承いただきと提案があった。審議の結果、満場一致で承認された。

第13号議案（決議） 福祉機器コンテスト2012の決算について

コンテスト担当の元田理事より、コンテスト2012の決算について別紙の決算書が提示され、審議の結果、満場一致で承認された。承認11、非承認0

- ・ 最終的な法人決算の一部の事前監査として内部監査を実施し、問題はなかった。

第14号議案（決議） コンテスト2013実施計画と予算について

コンテスト担当の元田理事より、コンテスト2013実施計画・予算について、実施要綱案、募集チラシ、予算案、選考委員会案が提示され、審議の結果、満場一致で承認された。承認11、非承認0

- ・ 選考委員の候補者が挙げられた。後援依頼時に選考委員リストが必要なため、内諾後に理事会MLにて承認を得ることで承認された。最終確定後専権とする。承認11、非承認0

第15号議案（専権等の報告） コンテスト事務局との契約について

コンテスト担当の元田理事より、福祉機器コンテストのコンテスト事務局との契約について、前年度と同様に、別府リハビリテーションセンターにお願いした（契約期間は2013年3月1日～2014年2月28日）ことが報告された。審議の結果、満場一致で承認された。承認11、非承認0

第16号議案（決議） 新入会者の承認について

事務局統括担当の沖川理事より、別紙14名（年度当初1名、下半期13名）新入会が提示され、審議の結果、満場一致で承認された。承認11、非承認0

第17号議案（決議） 第27回リハビリ工学カンファレンス in 福岡の法人監事による確認の報告
カンファレンス担当の巴理事より、第27回リハビリ工学カンファレンス in 福岡の法人監事による確認の報告がなされた。審議の結果、満場一致で承認された。承認11、非承認0

- ・ 内部監査という位置づけである。資料として法人会計年度に合わせた決算書を提出予定である。

第18号議案（決議） 第28回リハビリ工学カンファレンス in いわて 要項等の承認

カンファレンス担当の巴理事より、第28回リハビリ工学カンファレンスの要項等書類1式の提示があり、審議の結果、満場一致で承認された。承認11、非承認0。なお審議に際し、軽微な修正点や遂行における意見が出され、実行委員会へ申し送りするなど、カンファレンス担当理事で対応することとなった。

- ・ 実行委員会設立要綱で監事2名とあるが、協会監事を入れて2名と検討されていたが、どうなっているのか。同じ組織から監事2名ではなく、協会監事1名を入れる。連結決算の対象となるので、カンファレンス監事は協会監事が務め、実行委員内には会計担当を置くだけとする。

第19号議案（報告） 第29回リハビリ工学カンファレンスの進捗報告

カンファレンス担当の巴理事より、第29回リハビリ工学カンファレンスの進捗状況についての報告がされた。開催日程を早急に詰めることが報告された。

第20号議案（決議） 定款施行細則変更

規則・選挙担当の鈴木理事より、2012年8月定款改正による定款施行細則変更案が提示され、審議の結果、満場一致で承認された。内容の改正ではなく新定款の条数に合わせた条数表記の変更である。

承認11、非承認0

第21号議案（決議） 委員会設置規則の改正

総務統括担当の鈴木理事より、定款改正（代議員制度導入）による委員会設置規則改正案が提示され、審議の結果、満場一致で承認された。承認11、非承認0

- ・ 委員会設置規則第4条、同第2項において、「社員である個人」への限定を、「正会員」に修正する。併せて、第7条の「社員及び会員」を「会員」へ修正する。

第22号議案（決議） 理事会推薦役員候補者

総務統括担当の鈴木理事より、理事会推薦役員候補者案が提示され、審議の結果、満場一致で承認された。承認11、非承認0

第23号議案（専権等の報告） WHO「Work Package No.5: Assistive Technology」研究サポート提出報告

国際担当の大鍋理事より、WHO「Work Package No.5: Assistive Technology」研究サポートをRESJAより提出（To whom it may concern）したことが報告された。

第24号議案（専権等の報告） 韓国リハビリテーション工学協会(RESKO)カンファレンス出席報告

国際担当の大鍋理事より、韓国リハビリテーション工学協会(RESKO)カンファレンス出席したことが報告された。

第25号議案（専権等の報告） Rehabilitation Engineering and Assistive Technology Society of Taiwan (TREATS)の依頼で、Symposium and Forum 参加報告

国際担当の大鍋理事より、Rehabilitation Engineering and Assistive Technology Society of Taiwan (TREATS)に出席したことが報告された。

- ・ 1/19 台湾のリハビリテーション工学協会(Rehabilitation Engineering and Assistive Technology Society of Taiwan (TREATS)の依頼で、国立台湾大学医学院で開催されたSymposium and Forumで

Key Note Speech を行った。

第26号議案（専権等の報告） CSUN Conferece—Int. Conference Organizers Meeting 参加報告
国際担当の大鍋理事（代理 井村監事）より、CSUN Conferece—Int. Conference Organizers Meeting
に出席したことが報告された。

- ・ RESJA から3名参加した。後日、整理したものを報告予定である。

第27号議案（専権等の報告） 次期編集委員の候補および決定

協会誌担当の岩崎理事より、2013年2月末現在までの次期編集委員4名の推薦候補者が報告され、審議
の結果、満場一致で承認された。

議長は、以上をもって一般社団法人日本リハビリテーション工学協会の2012（平成24）年度第4回（通算
第12回）理事会に関する全ての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。（15時05分）

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、議長並びに議事録署名人は次に署名又は記名・押印する。

2013年3月10日

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会平成24年度第4回理事会

議 長 相良 二郎

議事録署名人 塚田 敦史

議事録署名人 巴 雅人